

平成20年度 決算報告書

国立大学法人政策研究大学院大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	2,088	2,071	△ 17	(注1)
施設整備費補助金	515	515	△ 0	
補助金等収入	—	189	189	(注2)
自己収入	233	287	54	
授業料、入学料及び検定料収入	224	224	△ 0	
雑収入	9	63	54	(注3)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	114	230	116	(注4)
目的積立金取崩	1,083	6	△ 1,077	(注5)
計	4,033	3,298	△ 735	
支 出				
業務費	1,955	1,371	△ 584	
教育研究経費	1,955	1,371	△ 584	(注6)
一般管理費	1,449	850	△ 599	(注7)
施設整備費	515	515	△ 0	
補助金等	—	189	189	(注8)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	114	174	60	(注9)
計	4,033	3,099	△ 934	
収入－支出	—	199	199	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予定より特別教育研究経費における過年度分の運営費交付金債務の収益化が少なかったこと等のため、予算額に比して決算額が17百万円少額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国からの補助金事業の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が189百万円多額となっています。
- (注3) 雑収入については、科学研究費補助金の間接経費相当額の受入や余裕資金運用に伴う財務収益の発生等により、予算額に比して決算額が54百万円多額となっています。
- (注4) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階では予定していなかった国、独立行政法人等からの受託研究等の獲得、及び、奨学寄附金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が116百万円多額となっています。
- (注5) 目的積立金取崩については、予算段階では取り崩しを予定していたが、目的積立金を財源とした事業を翌年度以降に実施することとしたため、予算額に比して決算額が1,077百万円少額となっています。
- (注6) 教育研究経費については、上記(注5)の理由等により、予算額に比して決算額が584百万円少額となっています。
- (注7) 一般管理費については、上記(注5)の理由等により、予算額に比して決算額が599百万円少額となっています。
- (注8) 補助金等については、上記(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が189百万円多額となっています。
- (注9) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、上記(注4)に示した理由により、予算額に比して決算額が60百万円多額となっています。